

# PLEN Robotics株式会社

〒531-0072  
大阪市北区豊崎4丁目6番3号  
クレピス21 303号

<https://plenrobotics.com/>

2017年創業。サービス施設の人手不足やウイルスの蔓延によって需要の高まったAIによる接客技術の開発・販売を行っています。中小企業向けに開発された『PLEN CUBE』（プレんキューブ）は、本社のある大阪府を中心に導入され、関東や九州でも少しずつ普及しています。

## AIと協力、人手不足を解消

少子高齢化による人手不足が近年、社会問題となっています。特に中小企業の離職率は深刻で、人手不足が続けば倒産の危機にもなりかねません。主に顔認証システムを取り扱うPLEN Roboticは、なかでもサービス業の現場で求められるサイズ感とスペックに特化した製品『PLEN CUBE』を開発・販売。単純作業をAIに肩代わりしてもらうことで、中小企業が抱えるこうした課題解決に取り組んでいます。

### ●中小企業向けのAIロボ

同社は、顔認証システムを主軸とした中小企業向けのAIロボットを開発しています。これは、少子高齢化による人手不足を機械に肩代わりしてもらうことで、人と機械の双方に沿った働き方を提供したいという考えによるものです。現在、顔認証システムは他社からも多くリリースされていますが、大規模かつスペックが複雑で、コストも高いため、中小企業には手が出しにくいのが現状です。そこで同社は、機能面やコスト面においても、中小企業に親しみやすい技術を目指し、オープンソースを活用したものづくりを心がけています。

### ●場所を問わずに使用可

同社が開発・販売するPLEN CUBEは、74mm四方の顔認証端末です。モノクロなカラーリングと、片手に収まる箱型のシンプルなデザインは、場所を問わずに使える見た目と機能を実現するために、試行錯誤の末に、あえて”脱・個性”にこだわったもの。人が端末の方向を向くと、カメラが自動で位置を合わせて、顔を検出、処理が行われます。また、顔認証システムを応用できる対人サービスや、機械が代行可能な単純作業の処理も実現。すでに導入している会計ソフトや決裁システム、勤怠管理システムなどと連携させることが可能であるほか、クラウドを使用せずに、端末内で保存や認証プロセス処理を完結することができるのが特長です。

### ●学校や介護施設で活躍

PLEN CUBEは多岐にわたる現場で利用されています。現在、最も多く導入されているのは教育機関です。授業前の出欠確認は、PLEN CUBEに顔を見せるだけで完了させることができます。また、医療機関や介護施設では、受付の自動化や認知症高齢者の安全を確保するために利用されています。例えば人が病室から出て行こうとすると「お出かけですか」とボイス機能で呼びかけ、反応や応答がなかった場合はその時点で姿を撮影し、徘徊による行方不明者の捜索時に役立っています。今後は、AI技術の精度を高め、こういった会社及び製品が存在していることをより広く認知してもらうこと、そしてユーザーの意見を積極的に取り入れながら、本当に役に立つ製品開発をさらに推進していくことが大きな目標です。